コロナ禍の卒業アルバム　ＡＩ活躍

イベント激減・マスク姿…写真選定を支援

経済＃アナトミア
解剖学

新型コロナウイルス感染症の影響で、各地の学校は今年も多くの活動制約を受けた。緊急事態宣言の解除を受け、運動会や学芸発表会を再開する動きも見られるが、内容や参加者を絞ったケースも多い。年度後半になり、学校関係者を悩ませているのが、卒業アルバムの作成だ。素材となるイベント自体が少なかったことに加え、マスク姿で写真の生徒の特定が難しいという問題も起きている。学校や街の写真館では、アルバムづくりに人工知能（ＡＩ）を活用して対応する動きも加速している。

「うちの子少ない」問題

「今年は本当に行事やイベントが少なく、授業もオンラインが多かった。それも思い出だと割り切ればいいかもしれないが、良い写真が少ない分、卒業アルバムづくりは大変です」

こう語る都内の高校の男性教諭の悩みは、全国の学校関係者に共通している。今年度は、コロナ感染拡大で、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置がほぼ全国どこかの地域で発令された。「コロナの影響を約2年間受けた来年の卒業生は特に気の毒だ」

また、日常生活でマスクの着用が徹底されたことで、どうしてもマスク姿の写真が多くなってしまう。

卒業アルバムで採用する写真については、特定の生徒の写真が多くならないよう配慮が必要だ。「これは本当に気を使うポイント。過去には保護者から『うちの子供が写っている写真が少ない』とクレームがあったとも聞いている」と話すのは、新潟県の中学校の女性教諭だ。

写真の選定作業は通常、各校の担当者や制作を請け負う写真館が行うが、マスク姿の顔を判別するため「例年以上に時間がかかる」（同教諭）という。

作業時間が半分以下

そんな課題を解決する技術として注目されているのが、ＡＩによる画像解析技術だ。コロナ禍でマスク姿の人の往来が増えたことに対応できるよう、急速に技術革新が進んだ。最近ではマスクをしたままの画像からでも性別や年齢を推定し、個人を特定できるほどの精度を実現している。

この技術を卒業アルバムづくりにも活用しようという動きが、ここに来て広がっている。これまでは富士フイルムなどの大手がアルバムづくりでＡＩを活用したサービスを展開していたが、今では創業間もないベンチャー企業でもＡＩを手軽に利用できるようになり、ニッチ市場の開拓が始まっている。

千葉県の柏市立手賀西小学校では例年、6年生の担任が6年分の膨大な写真データの中から候補写真を選別。その写真をプリントアウトしてから卒業アルバム担当の保護者数人が写真を選別する作業に携わる。顔が大きく写っている児童を1、顔が少し欠けたり、小さく写っている児童を0・5とする基準を設け、児童が登場した回数を「正」の字で数えていた。

ただ、「1～2年生時の児童の顔は成長で変わってきている子もいて迷うこともある」（担当教諭）という。担当の保護者は5回ほど学校に集まり、1回当たり約2時間を選定作業に費やすという。

こうした業務負担を軽減しようと同校は昨年度、写真販売システム運営の「エグゼック」（東京都目黒区）が提供するサービスを利用した。顔認証ＡＩによって、掲載数の少ない児童の写真を即座に選定することが可能で、各児童の登場回数を自動でカウントするほか、教諭と写真館、保護者、製本会社で業務を共有できる。

大きなポイントは、マスクやメガネの有無、成長による顔の変化もＡＩで正確に選別できることだ。担当教諭も「びっくりするぐらい選別の精度は高かった。作業時間も例年の半分以下になったのでは」と驚く。

ＡＩを使った卒業アルバム制作の画面（右）。個々の生徒の顔をＡＩが識別して登場回数も自動カウントし（左）、候補写真を選別する（エグゼック提供）

生徒オリジナルに

ＡＩを使った卒業アルバムづくりの効率化は、文部科学省がまとめた全国の小中高校の先進的な取り組み事例集でも紹介され、利用する学校が拡大した。

エグゼックによると、同社のサービスを利用した写真館は昨年度の100件から、今年度は250件へと2・5倍に急増。近年はネットの発達と価格競争で街の写真館が淘汰される傾向も指摘されるが、同社の山中淑史経営企画部長は、街の写真館には「これまで培った地元学校との信頼と実績がある」と評価。ＡＩの活用で、写真館のコスト削減や効率化が進めば役割も見直されると訴える。

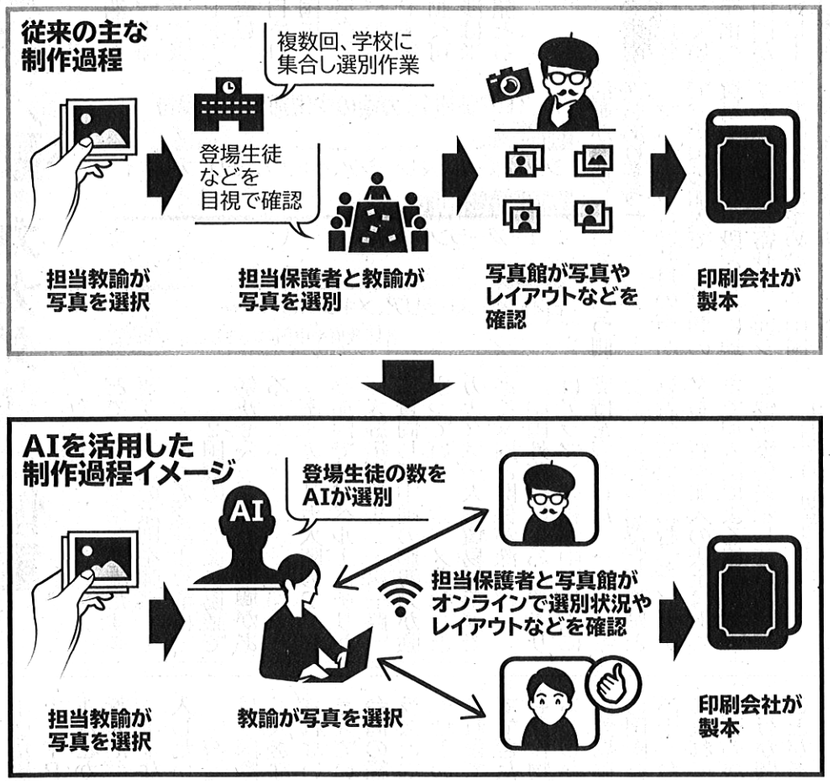
もっとも、コロナ後の卒業アルバムは、デジタル技術の進歩で大きく変わる可能性もある。

Ｍｓ（東京都葛飾区）は、ＡＲ（拡張現実）技術を導入した卒業アルバムを提供。専用アプリを起動してスマートフォンをアルバム内の写真にかざすと、動画も見られる。

プログラミング教育が必修化され、デジタル技術を履修する機会が増える中、今後は生徒自身がＡＩを活用して卒業アルバムを制作することも可能だ。卒業生全員に同一の卒業アルバムが配布される従来様式が変わり、生徒がそれぞれ個別のオリジナル卒業アルバムを手に取る日も来そうだ。

財政・金融担当
西村　利也

卒業アルバム制作はAI活用で大きく効率化される



※「アナトミア」はラテン語で解剖学の意味。経済＃アナトミアは原則、木曜日に掲載します。